

平成 26 年 7 月 9 日

加盟団体代表者 殿

公益財団法人 全日本ボウリング協会
認 証
部 会 長 四 宮



ボール検査合格証のこと

拝啓 時下益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、当協会の諸事業に格別なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

「ボウリング・ボール検査員 検査に関する手引き」に入っておりますボール検査合格証の記入について（P9～P10）の内容で、ボール名等の書き方があいまいになっており各大会で混乱を招いてしまいましたので、一部文章を変更し、明確にいたしました。変更した箇所は赤字になっております。お手数ですがボール検査員・選手の方に通達をよろしくお願いいたします。

公認ドリラーの方には7月中旬か下旬頃に公認ドリラー研修会の案内を郵送いたしますのでその時に変更内容を一緒にお送りさせていただきます。

取り急ぎ FAX をさせていただきます、本紙は7月22日（月）の定期発送でお送りさせていただきます。

記

変更箇所

氏名・所属・J.B.C.No.

・（訂正印は氏名・会員番号・所属のみ使用可能）追加

ボール名・ボールNo.・公認（WTBA・JBC）欄

・（アプリーブリストかボールの外箱に書いてある通りに書く）を（アプリーブリスト・ボールの外箱に書いてある文字・購入するショップ等）に変更

・（例1、例2の様にボール名は英文字・カタカナ記入どちらでもよい）追加

重量

（※参考としてバランサーによる計量は、トップウエイト、フィンガーウエイト、サイドウエイトの6箇所を計量し、その平均値を重量として、キログラムに換算して記入すること）削除

「※小数点2ケタまで記入してもよい」と文章追加

有効期間

（鉛筆での記入・日付の訂正は禁止します）追加

以上

JBC ボール検査合格証の記入について

平成 26 年 7 月

JBC ボール検査合格証 (記入例)

JBC		ボール検査合格証		No.○○○○○○○	
氏名	東京 太郎		所属	東京都	
J.B.C No.	13-A-○○○○○		硬度	75	
ボール 名	例 1) Black Diamond Particle Pearl 例 2) ブラックダイヤモンドパーティクルボール				
ボール No.	jp○○○○○	公認	WTBA	<input type="radio"/>	JBC
重量	6.97kg	指穴数	3	プラグ	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有()
有効期限 平成 26 年 5 月 6 日より平成 27 年 5 月 5 日					

公益財団法人 全日本ボウリング協会

本証の有効期間は 1 年間とする

本証受領後ボールにプラグ等の再加工をした場合、本証は無効とし、新たに連盟または大会本部に届け出て再検査を受けなければならない。

ドリル日 平成 26 年 5 月 1 日

(No.○○○○ - 13 号)

公認ドリラー名 青 森 花 子 (青森)

検査日 平成 26 年 5 月 6 日

(No.○○○○ - 13 号)

検査員名 佐 賀 三 郎 (佐賀)

連 盟 名 東京都ボウリング連盟

氏名・所属・J.B.C.No.

JBC 会員証に記載されている、氏名、所属(連盟)名、JBC 会員番号を記入する。

※ボール検査合格証の有効期間内に、年度切り替え等により、氏名、所属(連盟)名、JBC 会員番号が変わった場合は、新しい氏名、所属(連盟)名、会員番号を訂正してそのまま使用する。

※訂正箇所には、JBC 公認ボール検査員が確認し捺印する。(訂正印は氏名・会員番号・所属のみ使用可能)

ボール名・ボールNo.・公認 (WTBA・JBC) 欄

ボール名は、WTBA・JBC のリスト(アブル・ブリスト・ボールの外箱に書いてある文字・購入するショップ等)で確認して記入する。(例 1・例 2 の様にボール名は英文字・カタカナ記入どちらでもよい)

ボールNo.は、ボールに刻印されている全ての番号を記入する。

WTBA か JBC の公認が確認できたらどちらかに「○」印を付ける。

※ボール番号の無いボール、ハウスボール等においては、認識可能な最小限の番号、記号を刻印することは認められており、識別できる刻印をするように指導する。

硬度

デュロメーターD により、3 箇所以上を所定の方法で測定し、その平均をそのボールの硬度とする。(競技終了すぐの測定はしないこと)

重量

ボールの重量は必ず「キログラム」単位で記入すること。

「重量」は台秤で計量することを原則とする。

※小数点 2 ケタまで記入してもよい

指穴数

ボールを持つための穴は 5 穴が限度です。

バランスホール、通気のための穴は、指穴の数にはプラスしない。

プラグ「無・有()」

プラグの有・無に○を付け、プラグありの場合はプラグ数(ホールのプラグ)を記入する。

親指に埋めてあるソリッドはプラグとはみなさない。

※プラグをする時のソリッドでのプラグは、中に空洞ができるため禁止。

※ボールの表面に付いた傷をプラグした時は、プラグ数に含まない。(故意にキリ等で開けた穴